

令和7年度 東京都立足立特別支援学校 年間指導計画											
学部			高等部 普通科	学年	1・2・3年	学習グループ	陶芸班	教科等名	作業学習(陶芸班)		
年間授業時数			1年310時間 2年373.5時間 3年390.5時間	使用教室	陶芸室				使用教科書	なし	
曜日・校時 担当教員			月曜日	2～6校時	MT	加藤 卓	ST	竹川純 濱野千佳子 永井正次 岡田雅人 後野百香 澤田大介 井野口明香 阿部恵津子			
			金曜日	2～4校時	MT	加藤 卓	ST	高橋法子 星智美 永井正次 小宮混太郎 後野百香 澤田大介 井野口明香 阿部恵津子			
ね ら い	(1)	・物を作る喜びや、製品の有用性を知る。									
	(2)	・見通しをもち、意欲的に取り組む。									
	(3)	・あいさつ、返事、報告、相談等のコミュニケーション力を高め、協調性や働く態度を学ぶ。									
学期	単元名		月	時数	主な学習		ねらい		手だて		
1 学 期	・陶芸班の活動を知ろう		4	1年22時間 2年22時間 3年22時間	・作業班の年間計画、概要説明 ・安全な作業と道具類の取り扱い方 ・各作業工程について ・自分に合った作業工程 ・製品の使い心地の体験		・陶芸班の活動に見通しをもつ。 ・安全に作業を行う上で大切なルールや道具類の扱い方などを知る。 ・製作手順を意識し、正しく道具を使用する。 ・製作方法でのグループ分けに向けて、適性を知る。 ・よい器、悪い器に違いを体感して、製品の品質向上につなげる。		・実演や製品等を用いて、視覚的に分かりやすく説明する。 ・制作の様子を記録を取り、班分けに生かす。		
				1年23時間 2年23時間 3年23時間							
	・製作工程を覚えよう		6	1年37時間 2年78.5時間 3年79.5時間	・たたら作り、泥漿鑄込み、機械ろくろ ・作業工程 ・ルール、手順 ・1学期のまとめ・片付け作業等		・粘土の扱いや道具の準備などの基本的な技術を習得する。 ・繰り返し製作し、作業に慣れる。 ・正しく道具を扱う。 ・決められた製作手順を守る。 ・1学期に頑張ったことをお互いに評価し合い、2学期への意欲を高める。		・見本や手順書を用いて、決められた段階を踏みながら製作するよう促す。 ・グループ内での動線を整理し、室内の道具を使いやすく配置する。 ・同じ工程を繰り返し、決められた段階を覚えられるように課題設定をする。 ・指示する内容を整理してシンプルにし、理解しやすくなるよう配慮する。		
				7							1年16時間 2年16時間 3年37時間
2 学 期	・販売製品を作ろう		9	1年25時間 2年25時間 3年25時間	・製品の完成度の向上 ・文化祭、喫茶スペース用販売製品製作 ・2学期の作業の説明 ・個人目標決定 ・校内実習		・一つ一つの工程を確実にを行い、製品の完成度を上げる。 ・販売製品になることを意識して、丁寧さを意識する。 ・販売する製品の完成度に対して責任をもつ。 ・失敗を減らし、販売数を確保する。 ・班の活動に見通しをもつ。 ・2学期の自分の目標を考える。		・段階ごとに教員がチェックし、ひとつひとつの工程を丁寧に製作するよう促す。 ・指示する内容を整理してシンプルにし、理解しやすくなるよう配慮する。 ・頑張ったことをみんなで確認し評価して意欲を高める。		
				10							1年27時間 2年49時間 3年95時間
				11							1年65時間 2年65時間 3年22時間
	・文化祭の準備をしよう		12	1年29時間 2年29時間 3年29時間	・お店作り ・文化祭、喫茶スペース用販売製品の制作 ・2学期のまとめ、片付け作業等		・分担して販売に必要な掲示物を作る。 ・失敗を減らし、販売数を確保する。		・何が販売に必要な掲示物が考えるよう促す。 ・頑張ったことをみんなで確認し評価して意欲を高める。		
3 学 期	・販売の練習をしよう		1	1年17時間 2年17時間 3年17時間	・接客の仕方		・相手に聞き取りやすい声で話す。 ・身だしなみを整える。 ・製品の金額を覚える。		・教員が手本を示し、視覚的に分かりやすく説明する。 ・店員役と客役に分かれ、模擬販売を行うことで、販売の流れに見通しをもてるようにする。		
	・新製品を考えよう		2	1年25時間 2年25時間 3年22時間	・新製品試作 ・製品の付き心地の体験 ・片付け、1年間のまとめ。		・新製品を考え試作品を作る。 ・1年間に頑張ったことをお互いに評価し合い、次年度への意欲を高める。		・新たな補助具等を整える。 ・陶芸室の片付けをし、動きやすい動線について再検討する。 ・1年頑張ったことをお互いに評価し合い、次年度への意欲を高める。		
	・新製品を考えよう		3	1年24時間 2年24時間 3年19時間	・新製品試作 ・製品の付き心地の体験 ・片付け、1年間のまとめ。		・新製品を考え試作品を作る。 ・1年間に頑張ったことをお互いに評価し合い、次年度への意欲を高める。		・新たな補助具等を整える。 ・陶芸室の片付けをし、動きやすい動線について再検討する。 ・1年頑張ったことをお互いに評価し合い、次年度への意欲を高める。		
通 年	・学年作業 ・校内実習		通年		・教室整備、清掃作業等 ・軽作業等		・協力して清掃作業や教室整備を行う。 ・マナーやルールを理解して作業する。		・手本を示したり、手順を一定にして分かりやすく作業を進める。 ・視覚教材を用意する。		

令和7年度 東京都立足立特別支援学校 年間指導計画												
学部			高等部 普通科		学年	1・2・3年	学習グループ	紙工班	教科等名	作業学習		
年間授業時数			1年310時間 2年373.5時間 3年390.5時間		使用教室	紙工室				使用教科書	なし	
曜日・校時 担当教員			月曜日	2～6校時		MT	川崎剛	ST	蓮沼淳子、藤澤由佳、金野拓郎、宇田川良行、 穴戸星鈴、池田尚央、渡部美紀、藤田裕一、新村和歌子			
			金曜日	2～4校時		MT	川崎剛	ST	蓮沼淳子、藤澤由佳、金野拓郎、宇田川良行、 穴戸星鈴、池田尚央、渡部美紀、鈴木蒔、藤田裕一、新村和歌子			
ね ら い	(1)	物を作る喜びや、製品の有用性を知る。										
	(2)	見通しをもち、意欲的に取り組む。										
	(3)	手指の巧緻性を高め、集中力、持続力を養う。										
学期	単元名		指導月	指導時数	主な学習		ねらい		手だて			
1 学 期	・製作工程を覚えよう		4	1年19時間 2年19時間 3年23時間	作業工程の確認 紙すき		○安全な作業と道具類の取り扱い方、安全に作業を行う上で大切なルールや道具類の扱い方などを知る。		・見本や手順書を用いて、決められた段階を踏みながら製作するよう促す。 ・グループ内での動線を整理し、室内の道具を使いやすく配置する。			
	・製作工程を覚えよう		5	1年33時間 2年37時間 3年26時間	作業工程の確認 パルプ作り 解体 紙漉き 製品作り 受注品（名刺）		○安全な作業と道具類の取り扱い方、安全に作業を行う上で大切なルールや道具類の扱い方などを知る。 ○各作業工程について知る。 製作手順を意識し、正しく道具を使用する。 ○自分に合った作業工程を知る。 製作方法でのグループ分けに向けて、適性を知る。		・見本や手順書を用いて、決められた段階を踏みながら製作するよう促す。 ・グループ内での動線を整理し、室内の道具を使いやすく配置する。 ・同じ工程を繰り返し、決められた段階を覚えられるように課題設定をする。 ・指示する内容を整理してシンプルにし、理解しやすくなるよう配慮する。			
	・製作工程を覚えよう		6	1年32時間 2年57時間 3年64時間								
	・販売製品を作ろう		7	1年19時間 2年19時間 3年37時間	作業工程の確認 パルプ作り 解体 紙漉き 製品作り 受注品（名刺）		○紙漉き、パルプ作り、解体、製品の各グループで作業をする。道具の扱いや準備などの基本的な技術を習得する。 ○作業工程を覚える 繰り返し製作し、作業に慣れる。 ○ルールや手順を守る。 正しく道具を扱う。 決められた製作手順を守る。 ○名刺の受注生産を行う。 受注製品を作り、紙の製品化を行う。		・工程ごとに教員がチェックし、ひとつひとつの工程を丁寧に製作するよう促す。 ・指示する内容を整理してシンプルにし、理解しやすくなるよう配慮する。 ・頑張ったことをみんなで確認し評価して意欲を高める。			
2 学 期	・販売製品を作ろう		9	1年22時間 2年24時間 3年24時間								
	・販売製品を作ろう		10	1年30時間 2年27時間 3年78時間								
	・文化祭の準備をしよう		11	1年44時間 2年75時間 3年27時間	パルプ作り 解体 紙漉き 製品作り 受注品（名刺） 封入		○お店作りをする。 販売に必要な掲示物を作る。 ○文化祭、喫茶スペースで販売する製品を作る。 丁寧に作業することを意識し、製品数を確保する。 ○2学期のまとめ・片付け作業等 2学期の作業を振り返り、3学期への意欲を高める。		・何が販売に必要な掲示物が考えるよう促す。 ・段階ごとに教員がチェックし、ひとつひとつの工程を丁寧に製作するよう促す。 ・頑張ったことをみんなで確認し評価して意欲を高める。			
	・文化祭の準備をしよう		12	1年43時間 2年29時間 3年31時間								
3 学 期	・販売の練習をしよう		1	1年19時間 2年23時間 3年19時間	・お店作り ・接客練習		○接客の仕方を学ぶ。 相手に聞き取りやすい声で話す。 身だしなみを整える。 製品の金額を覚える。		・教員が手本を示し、視覚的に分かりやすく説明する。 ・店員役と客役に分かれ、模擬販売を行うことで、販売の流れに見通しをもてるようにする。			
	・文化祭のまとめをしよう ・新製品を考えよう ・製品作り		2	1年25時間 2年25時間 3年25時間	パルプ作り 解体 紙漉き 製品作り 受注品（名刺）		○文化祭での販売の様子を振り返る。 ○お客さんのニーズを考える。 ○新製品に取り組む。 新製品の案を考え、試作品を作る。 ○片付け・1年間のまとめ		・文化祭で頑張ったことをお互いに評価し合い、今後への意欲を高める。 ・生徒の意見も取り入れ、量産が可能な製品を試作する。 ・1年を経て、年度当初よりもステップアップした作業を行えるよう、各自の仕事内容を見直す。 ・今年度頑張ったことをお互いに評価し合い、次年度への意欲を高める。			
	・新製品を考えよう ・製品作り ・1年間のまとめ		3	1年26時間 2年26時間 3年22時間								
通 年	・学年作業 ・校内実習		通年		・教室整備、清掃作業等 ・軽作業等		・協力して清掃作業や教室整備を行う。 ・マナーやルールを理解して作業する。		・手本を示したり、手順を一定にして分かりやすく作業を進める。 ・視覚教材を用意する。			

令和7年度 東京都立足立特別支援学校 年間指導計画									
学部		高等部 普通科	学年	1・2・3年	学習グループ	サービス班	教科等名	作業学習(サービス班)	
年間授業時数		1年310時間 2年373.5時間 3年390.5時間	使用教室	集会室		事務・清掃室		使用教科書	なし
曜日・校時 担当教員		月曜日	2～6校時		MT	齊藤彩音		ST	吉田祥子、山本裕司、須田賀容子、馬場信孝、樋澤満璃奈、望月亜夢路、曾根将真
		金曜日	2～4校時		MT	齊藤彩音		ST	吉田祥子、山本裕司、須田賀容子、馬場信孝、樋澤満璃奈、望月亜夢路、曾根将真
ね ら い	(1)	作業について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。							
	(2)	作業に関する課題を発見し、社会人に求められるマナーを踏まえ、解決する能力を養う。							
	(3)	社会人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい人間関係の構築を目指して自ら学び、人々の生活の向上に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。							
学期	単元名		月	時数	主な学習	ねらい		指導の工夫	
1 学 期	作業の工程を覚えよう		4	1年22時間 2年22時間 3年22時間	・受注作業 【外部】 ハンガーのカバーかけ 【校内】 クリーニング（洗濯）作業	【ハンガーのカバーかけ】 ・実際に売り物として使われる意識をもち、ハンガーやカバーを丁寧に扱う。 ・作業時間集中して作業に取り組む姿勢を養う。		・作業時間をタイムタイマー等で示し、見通しをもち作業できるようにする。 ・必要な道具や手順を記した指示書を作成する。	
	作業の工程を覚えよう		5	1年23時間 2年23時間 3年23時間	・うら紙づくり、シュレッダー等の事務作業	【クリーニング作業】 ・洗濯機の使い方を覚える。 ・洗濯物の干し方を学ぶ。 ・洗濯物のたたみ方を学ぶ。 ・洗濯板やアイロン等の使用方法を学ぶ。		・道具置き場を整備し、何があるかを一目でわかるようにする。 ・終了時間を目に見える場所に提示し、時間を意識し作業できるようにする。	
	作業の工程を覚えよう		6	1年37時間 2年69時間 3年69時間		【うら紙づくり等】 ・スタンプをきれいに決められた場所に押す。 ・決められた時間内、座って作業を続ける。		・補助具を用意して、生徒が主体的に作業に取り組めるようにする。 ・挨拶や報告を行う場面を設定する。	
	作業の工程を覚えよう		7	1年16時間 2年16時間 3年33時間		【その他】 ・指示の通りに正確に作業ができる。 ・自分から報告、連絡、相談ができる。		・作業日誌の記入を通して活動を振り返り、達成度や注意点を意識できるようにする。 ・出来高表を作成し、作業の成果を生徒自身が理解できるようにする。	
2 学 期	作業の工程に慣れよう		9	1年25時間 2年25時間 3年25時間				・校外等での活動の場合、安全に活動が行えるよう配慮し、危険な箇所を事前に把握して実施できるように準備する。	
	作業の工程に慣れよう		10	1年27時間 2年44時間 3年79時間					
	作業の工程に慣れよう		11	1年56時間 2年56時間 3年22時間					
	作業の工程に慣れよう		12	1年29時間 2年29時間 3年24時間					
3 学 期	文化祭に向けて準備しよう		1	1年17時間 2年17時間 3年17時間	・サービス班の紹介 ・これまでの作業の振り返り	・学習の成果を振り返る。 ・作業の様子を伝えられる掲示物等を作る。		・デジタルカメラで撮影した写真等を利用する。 ・タブレット端末等を活用して、視覚的にわかりやすく提示する。	
	作業のまとめをしよう		2	1年25時間 2年25時間 3年22時間	・受注作業 【ハンガーのカバーかけ】 【校内における受注作業】 ・クリーニング作業 ・うら紙づくり、シュレッダー、封筒作り等の事務作業 ・校外へのポスティング作業（年間を通し数回行う）	・一連の流れを把握し、できるだけ一人で作業を進める。 ・自分の課題を認識し、目標達成のために努力する。 ・分担された作業を確実に行う。		・事務清掃室の片づけをし、動きやすい動線について再検討する。 ・今年度頑張ったことをお互いに評価し合い、次年度への意欲を高める。	
	作業のまとめをしよう		3	1年24時間 2年24時間 3年19時間					
通 年	・学年作業 ・校内実習		通年		・教室整備、清掃作業等 ・軽作業等	・協力して清掃作業や教室整備を行う。 ・マナーやルールを理解して作業する。		・手本を示したり、手順を一定にして分かりやすく作業を進める。 ・視覚教材を用意する。	

令和7年度 東京都立足立特別支援学校 年間指導計画										
学部			高等部 普通科	学年	1・2・3年	学習グループ	布工班	教科等名	作業学習	
年間授業時数			1年310時間 2年373.5時間 3年390.5時間	使用教室	布工室				使用教科書	なし
曜日・校時 担当教員			月曜日	2～6校時	MT	奥山涼夏	ST	船田 麻里、栖原 美和子、澁江 理子、山崎 敏子		
			金曜日	2～4校時	MT	奥山涼夏	ST	船田 麻里、栖原 美和子、澁江 理子、山崎 敏子		
ね ら い	(1)	・物を作る喜びや、製品の有用性を知る。								
	(2)	・見通しをもち、意欲的に取り組む。								
	(3)	・挨拶、返事、報告、相談などのコミュニケーション力を高め、協調性や働く態度を学ぶ。								
学期	単元名		月	時数	主な学習		ねらい		指導の工夫	
1 学 期	織りの工程を覚えよう		4	1年22時間 2年22時間 3年22時間	・オリエンテーション ・道具の名前 ・単色織り		・布工班の活動に見通しをもつ。 ・織りに使う道具の名称や使い方を知る。 ・織りの正しい手順を意識して作業を行う。		・実演や製品などを用いて、視覚的に分かりやすく説明する。 ・写真や手順書を用いて、繰り返し確認できるようにする。	
				1年23時間 2年23時間 3年23時間						
	織りの工程を覚えよう		6	1年37時間 2年69時間 3年69時間	・二色織り ・経糸作り ・整経 ・ヘルド通し ・箆通し ・製品作り		・製作手順を意識し、正しく道具を使用する。 ・二本どり、交差織り、畳織り、羊毛や残糸を入れて織る方法を知る。 ・ミシンの基本的な技術を習得する。 ・製作方法でのグループ分けに向けて、適性を知る。		・同じ工程を繰り返し、決められた手順を覚えられるように課題設定をする。 ・段階に応じて補助具を用いる。 ・実演や製品などを用いて、視覚的に分かりやすく説明する。 ・見本や手順書を用いて、決められた段階を踏みながら制作できるようにする。 ・頑張ったことをみんなで確認し評価して、意欲を高める。	
				7						
2 学 期	色々な織り方を覚えよう		9	1年25時間 2年25時間 3年25時間	・二色織り ・経糸作り ・整経 ・ヘルド通し ・箆通し ・製品作り		・製作手順を意識し、正しく道具を使用する。 ・二本どり、交差織り、畳織り、羊毛や残糸を入れて織る方法を知る。 ・ミシンの基本的な技術を習得する。 ・製作方法でのグループ分けに向けて、適性を知る。		・同じ工程を繰り返し、決められた手順を覚えられるように課題設定をする。 ・段階に応じて補助具を用いる。 ・実演や製品などを用いて、視覚的に分かりやすく説明する。 ・見本や手順書を用いて、決められた段階を踏みながら製作できるようにする。 ・頑張ったことをみんなで確認し評価して、意欲を高める。	
				10						
	11	1年56時間 2年56時間 3年22時間								
	12	1年29時間 2年29時間 3年24時間								
3 学 期	文化祭を成功させよう		1	1年17時間 2年17時間 3年17時間	・お店作り ・文化祭の振り返り		・分担して販売に必要な掲示物貼りや商品並べを行う。 ・相手に聞き取りやすい声で話す。 ・振り返りを行い、達成感を得る。		・教員が手本を示し、視覚的に分かりやすく説明する。 ・店員役と客役に分かれ、模擬販売を行うことで、販売の流れに見通しをもてるようにする。 ・文化祭で頑張ったことを互いに評価し合い、今後への意欲を高める。	
				2						
	3	1年24時間 2年24時間 3年19時間								
	通 年	学年作業 校内実習		通年		・教室整備、清掃作業等 ・軽作業等		・協力して清掃作業や教室整備を行う。 ・マナーやルールを理解して作業する。		・手本を示したり、手順を一定にしたりして分かりやすく作業を進める。 ・視覚教材を用意する。

令和7年度 東京都立足立特別支援学校 年間指導計画											
学部			高等部 普通科		学年	1・2・3年	学習グループ	園芸班	教科等名	作業学習(園芸)	
年間授業時数			1年310時間 2年373.5時間 2年390.5時間		使用教室	園芸室		畑		使用教科書	なし
曜日・校時 担当教員			月曜日	2～6校時		MT	池田 光希		ST	菅原郁洋、室井えりか、本庄緑、箭内政俊	
			金曜日	2～4校時		MT	池田 光希		ST	菅原郁洋、室井えりか、本庄緑、箭内政俊	
ね ら い	(1)	意欲的に作業に取り組む態度と、働くための体力を養う。									
	(2)	共同作業を通して、人と関わる力を育て、協力して働くことを学ぶ。									
	(3)	作物を丁寧に育ててその成長を喜び、働く楽しさを理解する。									
学期	単元名		月	時数	主な学習		ねらい		指導の工夫		
1 学 期	園芸班の仕事を知ろう		4	1年22時間 2年22時間 3年22時間	・オリエンテーション		・授業の流れや約束事を確認する。 ・道具の名前と使用方法を理解する。 ・自己紹介を通して、1年間活動を共にする仲間と教師を知る。		・作業中の約束を目立つ場所に掲示する。 ・仕事内容を絵カードで提示する。 ・自己紹介カードを作成する。		
	夏野菜を育てよう		5	1年23時間 2年23時間 3年23時間	・畝作り(スコップ・土運び) ・マルチシート張り ・定植・播種支柱立て ・草取り・脇芽取り ・追肥 ・収穫		○畝作り(スコップ・土運び) ・マルチシート張り ・道具の扱い方や作業手順を覚え見通しをもって作業する。 ▲スコップ 土の掘り方の手順を理解して、全体を均一に掘る。 ▲土運び 土運びのコースを理解して一人で見通しをもって、コースを歩く。バケツの扱い方を覚え、土を空ける場所で土を空ける。 ○説明をよく聞いて作業手順を覚え、苗等を丁寧に扱い作業する。 作物の生長に興味・関心をもつ。		・掘る場所、土運びのコースをロープで区切り分かりやすく示す。 ・スコップを持つ位置を赤く塗り効率よくスコップを扱えるようにする。 ・バケツに入れる土の量を分かりやすくするため内側に赤線で示す。 ・畝にマルチシートを張り穴をあけ、定植位置を分かりやすくする。		
	夏野菜を育てよう 夏野菜の試食		6	1年37時間 2年69時間 3年69時間	・販売(地域・校内) ・花の植え替え ・乾物(唐辛子)の加工 ・試食		○説明をよく聞いて作業手順を覚え、苗等を丁寧に扱い作業する。 作物の生長に興味・関心をもつ。 ○ピンセットなどの道具を使い、丁寧に播種を行う。指先の力を調整しやさしく苗を扱い、深さや位置を考えながら植え替える。 ○指先の力を調整しやさしく苗を扱い、深さや位置を考えながら植え替える。		・条蒔きの播種は、畝に溝を切り蒔く位置を分かりやすくする。 ・プランターに定植する前に花鉢を並べ、位置関係を確認してから、定植していく手順で作業を進める。 ・収穫の大きさや色など手順書や実物で基準を示し視覚的に分かりやすくする。 ・秤での計量は、メモリに赤線を入れるなど視覚的に分かりやすくする。		
	夏野菜を育てよう 夏野菜の試食		7	1年16時間 2年16時間 3年33時間					・個数を決めて決められた数ずつ袋詰めするようにする。 ・試食は購入者アンケートなどを取り、その調理方法で試食をする。		
2 学 期	秋野菜を育てよう		9	1年25時間 2年25時間 3年25時間							
	秋野菜を育てよう 秋野菜の試食		10	1年27時間 2年44時間 3年79時間							
	秋野菜を育てよう 秋野菜の試食		11	1年56時間 2年56時間 3年22時間							
	秋野菜を育てよう		12	1年29時間 2年29時間 3年24時間							
3 学 期	作業販売の準備をしよう 冬野菜を育てよう		1	1年17時間 2年17時間 3年17時間	・収穫 ・作業販売		○作業販売会の準備作業 みんなで協力して、販売準備を進める。 生産から消費までの流れを理解し、成就感を味わう。		・秤での計量は、メモリに赤線を入れるなど視覚的に分かりやすくする。 ・個数を決めて決められた数ずつ袋詰めするようにする。		
	冬野菜を育てよう 冬野菜の試食		2	1年25時間 2年25時間 3年22時間	・畝作り(スコップ・土運び) ・マルチシート張り ・定植・播種支柱立て		○畝作り(スコップ・土運び) ・マルチシート張り ・道具の扱い方や作業手順を覚え見通しをもって作業する。		・掘る場所、土運びのコースをロープで区切り分かりやすく示す。		
	作業のまとめをしよう		3	1年24時間 2年24時間 3年19時間	・作業室の片付け ・反省		○教室整備、清掃作業等 協力して清掃作業や教室整備を行う。		・手本を示したり、手順を一定にして分かりやすく作業を進める。		

令和7年度 東京都立足立特別支援学校 年間指導計画									
学部			高等部 普通科	学年	2年	学習グループ	B(6人)	教科等名	作業学習(カフェサービス・清掃)
年間授業時数			373.5	使用教室	実習棟カフェ室		清掃室	使用教科書	なし
曜日・校時 担当教員			月曜日	2～5校時	MT	藤井幹一郎	ST		
			月曜日 金曜日	6校時 2～4校時	MT	石井紗季	ST		
ね ら い	(1)	・お客様や働く仲間と気持ちの良いコミュニケーションをとることができるようになる。							
	(2)	・就労現場に即したルールやマナーを守る態度を身に付ける。接客に関する基礎的な知識、理解を深める。							
	(3)	・作業工程を理解し、自分の分担に責任をもって作業する。							
学期	単元名		月	時数	主な学習		ねらい	指導の工夫	
1 学 期	カフェ営業学習 清掃作業（教室廊下清掃）		4	22	・2年特設作業の説明 ・1年間の流れについて ・接客の基本 ・資機材の名称の確認 ・準備、片付けの仕方 ・清掃のマナーや安全に関し て		・カフェの店員になるため ではなく、社会人として気持 ちの良いコミュニケーション がとれるようになるための 作業学習であることを理 解する。 ・資機材を正しく扱える。	・どのようなお店にしたい か、付箋を用いてブレンス トローミングで目指すお 店のイメージを考える。 ・手順書を使用し作業の手 順を確認する。	
	カフェ営業学習 清掃作業（教室廊下清掃）		5	23	・接客の基本 ・接客の模範演技にふれる ・紅茶の入れ方 ・場所に応じた清掃の練習		・指導者が設定した目標を 意識して取り組む。 ・実践練習で作業内容を 覚える。 ・清掃手順を理解し、資機 材を正しく使用し作業で きる。	・メモを活用して、互いに 課題を確認するように言 葉かけする。 ・タブレットPCで接客の 様子を撮影し、課題や反 省点、良かった点を意識 できるようにする。 ・正しい手順を繰り返し 行い、効率の良い清掃を 理解する。	
	カフェ営業学習 清掃作業（教室廊下清掃） ＋校内実習		6	78.5	・接客の基本（言葉遣い） ・接客の模範演技にふれる ・紅茶の入れ方 ・場所に応じた清掃の練習		・指導者が設定した目標を 意識して取り組む。 ・実践練習で作業内容を 覚える。 ・作業の効率や仕上げを考 えて清掃できる。	・メモを活用して、互いに 課題を確認するように言 葉かけする。 ・作業学習を行う上での ルールやマナーを理解す る。 ・できるだけ生徒だけで 行えるように手順書を利用 する。	
	カフェ営業学習 清掃作業（教室廊下掃）		7	16	・接客の基本（姿勢） ・接客の模範演技にふれる ・紅茶の入れ方 ・場所に応じた清掃の練習		・ケータリングの手順を 覚える。 ・一定の時間内に準備・片 付けができるようになる。 ・グループで協力し、コミ ュニケーションを取りな がら作業できる。	・作業学習を行う上での ルールやマナーを理解す る。 ・タブレットPCで接客の 様子を撮影し、課題や反 省点、良かった点を意識 できるようにする。 ・グループのリーダーが 作業内容等を指示でき るようにする。	
2 学 期	カフェ営業学習 清掃作業（教室廊下清掃・校外施設 清掃）		9	25	・接客の基本 ・ケータリングの基本 ・接客の模範演技にふれる ・紅茶の入れ方 ・場所に応じた清掃の練習		・ケータリングの手順を 覚える。 ・一定の時間内に準備・片 付けができるようになる。 ・資機材を正しく扱える。	・タブレットPCで接客の 様子を撮影し、課題や反 省点、良かった点を意識 できるようにする。 ・手順書を使用し作業の手 順を確認する。	
	カフェ営業学習 清掃作業（教室廊下清掃・校外施設 清掃） ＋校内実習		10	49	・接客の基本 ・ケータリングの基本 ・接客の模範演技にふれる ・紅茶の入れ方 ・場所に応じた清掃の練習		・一人一つ仕事を担当し、 自信をもって取り組める ようになる。 ・一定の時間内に準備・片 付けができるようになる。 ・清掃手順を理解し、資機 材を正しく使用し作業で きる。	・分担表を作成し、誰が何 をするのか全員が分かる ようにする。 ・活動の流れを作り、主 体的に活動できるよう になるまで繰り返す。 ・正しい手順を繰り返し 行い、効率の良い清掃を 理解する。	
	カフェ営業学習 清掃作業（教室廊下清掃・校外施設 清掃） ＋校内実習		11	65	・接客の基本 ・ケータリングの基本 ・接客の模範演技にふれる ・紅茶の入れ方 ・場所に応じた清掃の練習		・一人一つ仕事を担当し、 自信をもって取り組める ようになる。 ・一定の時間内に準備・片 付けができるようになる。 ・作業の効率や仕上げを考 えて清掃できる。	・分担表を作成し、誰が何 をするのか分かるように にする。 ・活動の流れを作り、主 体的に活動できるよう になるまで繰り返す。 ・できるだけ生徒だけで 行えるように手順書を利用 する。	
	カフェ営業学習 清掃作業（教室廊下清掃・校外施設 清掃）		12	29	・接客の基本 ・ケータリングの基本 ・接客の模範演技にふれる ・場所に応じた清掃の練習		・一人一つ仕事を担当し、 自信をもって取り組める ようになる。 ・グループで協力し、コミ ュニケーションを取りな がら作業できる。	・メモを活用して、互いに 課題を確認するように言 葉かけする。 ・タブレットPCで接客の 様子を撮影し、課題や反 省点、良かった点を意識 できるようにする。 ・グループのリーダーが 作業内容等を指示でき るようにする。	
3 学 期	カフェ営業学習 清掃作業（教室廊下清掃・校外施設 清掃）		1	17	・接客の基本 ・接客の模範演技にふれる ・場所に応じた清掃の練習		・一人一つ仕事を担当し、 自信をもって取り組める ようになる。 ・一定の時間内に準備・片 付けができるようになる。 ・清掃手順を理解し、資機 材を正しく使用し作業で きる。	・活動の流れを作り、主 体的に活動できるよう になるまで繰り返す。 ・タブレットPCで接客の 様子を撮影し、課題や反 省点、良かった点を意識 できるようにする。 ・正しい手順を繰り返し 行い、効率の良い清掃を 理解する。	
	カフェ営業学習 清掃作業（教室廊下清掃・校外施設 清掃）		2	25	・接客の基本 ・ケータリングの基本 ・接客の模範演技にふれる ・場所に応じた清掃の練習		・全ての仕事をローテー ションで経験する。（キ ッチン、ホール、ケータ リング） ・一定の時間内に準備・片 付けができるようになる。 ・自分で目標を設定でき る。 ・作業の効率や仕上げを考 えて清掃できる。	・分担表を作成し、誰が何 をするのか分かるように にする。 ・タブレットPCで接客の 様子を撮影し、課題や反 省点、良かった点を意識 できるようにする。 ・できるだけ生徒だけで 行えるように手順書を利用 する。	
	カフェ営業学習 清掃作業（教室廊下清掃・校外施設 清掃）		3	24	・接客の基本 ・ケータリングの基本 ・接客の模範演技にふれる ・場所に応じた清掃の練習		・全ての仕事をローテー ションで経験する。（キ ッチン、ホール、ケータ リング） ・一定の時間内に準備・片 付けができるようになる。 ・グループで協力し、コミ ュニケーションを取りな がら作業できる。	・活動の流れを作り、主 体的に活動できるよう になるまで繰り返す。 ・タブレットPCで接客の 様子を撮影し、課題や反 省点、良かった点を意識 できるようにする。 ・正しい手順を繰り返し 行い、効率の良い清掃を 理解する。	
通 年	学年作業		通年		・体育館椅子設置 ・物品運搬作業		・協力して決められた作 業を行う。 ・マナーやルールを理 解して作業する。	・手本を示したり、手 順を一定にして分か りやすく作業を進め る。 ・視覚教材を用意す る。	

令和7年度 東京都立足立特別支援学校 年間指導計画									
学部			高等部 普通科	学年	3年	学習グループ	B類型(8人)	教科等名	作業学習(カフェサービス・清掃)
年間授業時数			390.5	使用教室	カフェ室		実習棟・本校舎・校外施設	使用教科書	なし
曜日・校時 担当教員			月曜日	2～6校時	MT	坂本慎二・竹内祐	ST		
			金曜日	2～4校時	MT	坂本慎二・竹内祐	ST		
ね ら い	(1)	・お客様や働く仲間と綿密にコミュニケーションを図り、協力して作業に取り組めるようになる。							
	(2)	・就労現場に即したルールやマナーを守る態度を身に付ける。接客や清掃に関する基礎的な知識、理解を深める。							
	(3)	・作業工程を理解し、「報告・連絡・相談」を意識しながら自分の分担に責任をもって作業する。							
学期	単元名		月	時数	主な学習		ねらい	指導の工夫	
1 学 期	オリエンテーション カフェ営業学習 清掃作業(床清掃)		4	23	・1年間の流れについて ・接客の基本 ・資機材の名称の確認 ・準備、片付けの仕方 ・清掃のマナーや安全に関 して		・カフェの店員になるため ではなく、社会人として気持 ちの良いコミュニケーションが とれるようになるための作業 学習であることを理解する。 ・資機材を正しく扱える。	・どのようなお店にしたいか、付 箋を用いてブレンストーミン グで目指すお店のイメージを考 える。 ・手順書を使用し作業の手順を確 認する。	
	カフェ営業学習 清掃作業(床清掃)		5	26	・接客の基本 ・接客の模範演技にふれる ・茶やコーヒーの入れ方 ・場所に応じた清掃の練習		・指導者が設定した目標を意 識して取り組む。 ・実践練習で作業内容を覚え る。 ・清掃手順を理解し、資機材 を正しく使用し作業できる。	・メモを活用して、互いに課題 を確認するように言葉掛けする。 ・タブレットPCで接客の様子を撮 影し、課題や反省点、良かった点 を意識できるようにする。 ・正しい手順を繰り返し行い、効 率の良い清掃を理解する。	
	カフェ営業学習 清掃作業(床清掃) ＋校内実習		6	64	・接客の基本(言葉遣い) ・接客の模範演技にふれる ・茶やコーヒーの入れ方 ・場所に応じた清掃の練習		・指導者が設定した目標を意 識して取り組む。 ・実践練習で作業内容を覚え る。 ・作業の効率や仕上げを考え て清掃できる。	・メモを活用して、互いに課題 を確認するように言葉掛けする。 ・作業学習を行う上でのルールや マナーを理解する。 ・できるだけ生徒だけで行えるよ うに手順書を利用する。	
	カフェ営業学習 清掃作業(床清掃)		7	37	・接客の基本(姿勢) ・接客の模範演技にふれる ・茶やコーヒーの入れ方 ・場所に応じた清掃の練習		・ケータリングや地域営業の 手順を覚える。 ・一定の時間内に準備・片付 けができるようになる。 ・グループで協力し、コミュ ニケーションを取りながら作 業できる。	・作業学習を行う上でのルールや マナーを理解する。 ・タブレットPCで接客の様子を撮 影し、課題や反省点、良かった点 を意識できるようにする。 ・グループのリーダーが作業内容 等を指示できるようにする。	
2 学 期	カフェ営業学習 清掃作業(床清掃・校外施設清 掃)		9	24	・接客の基本(所作) ・ケータリングの基本 ・接客の模範演技にふれる ・茶やコーヒーの入れ方 ・場所に応じた清掃の練習		・ケータリングや地域営業の 手順を覚える。 ・一定の時間内に準備・片付 けができるようになる。 ・資機材を正しく扱える。	・タブレットPCで接客の様子を撮 影し、課題や反省点、良かった点 を意識できるようにする。 ・手順書を使用し作業の手順を確 認する。	
	カフェ営業学習 清掃作業(教室清掃・校外施設 清掃) ＋校内実習		10	78	・接客の基本 ・ケータリングの基本 ・接客の模範演技にふれる ・茶やコーヒーの入れ方 ・場所に応じた清掃の練習		・一人一つ仕事を担当し、自 信をもって取り組めるように になる。 ・一定の時間内に準備・片付 けができるようになる。 ・清掃手順を理解し、資機材 を正しく使用し作業できる。	・分担表を作成し、誰が何をす るのか全員が分かるようにす る。 ・活動の流れを作り、主体的に活 動できるようになるまで繰り返 す。 ・正しい手順を繰り返し行い、効 率の良い清掃を理解する。	
	カフェ営業学習 清掃作業(教室清掃・校外施設 清掃) ＋校内実習		11	27	・接客の基本 ・ケータリングの基本 ・接客の模範演技にふれる ・茶やコーヒーの入れ方 ・場所に応じた清掃の練習		・一人一つ仕事を担当し、自 信をもって取り組めるように になる。 ・一定の時間内に準備・片付 けができるようになる。 ・作業の効率や仕上げを考え て清掃できる。	・分担表を作成し、誰が何をす るのか分かるようににする。 ・活動の流れを作り、主体的に活 動できるようになるまで繰り返 す。 ・できるだけ生徒だけで行えるよ うに手順書を利用する。	
	カフェ営業学習 清掃作業(教室清掃・校外施設 清掃)		12	31	・接客の基本 ・ケータリングの基本 ・接客の模範演技にふれる ・場所に応じた清掃の練習		・一人一つ仕事を担当し、自 信をもって取り組めるように になる。 ・グループで協力し、コミュ ニケーションを取りながら作 業できる。	・メモを活用して、互いに課題を 確認するように言葉掛けする。 ・タブレットPCで接客の様子を撮 影し、課題や反省点、良かった点 を意識できるようにする。 ・グループのリーダーが作業内容 等を指示できるようにする。	
3 学 期	カフェ営業学習 清掃作業(教室清掃・校外施設 清掃)		1	19	・接客の基本 ・接客の模範演技にふれる ・場所に応じた清掃の練習		・一人一つ仕事を担当し、自 信をもって取り組めるように になる。 ・一定の時間内に準備・片付 けができるようになる。 ・清掃手順を理解し、資機材 を正しく使用し作業できる。	・活動の流れを作り、主体的に活 動できるまで繰り返す。 ・タブレットPCで接客の様子を撮 影し、課題や反省点、良かった点 を意識できるようにする。 ・正しい手順を繰り返し行い、効 率の良い清掃を理解する。	
	カフェ営業学習 清掃作業(教室清掃・校外施設 清掃)		2	25	・接客の基本 ・ケータリングの基本 ・接客の模範演技にふれる ・場所に応じた清掃の練習		・すべての仕事をローテー ションで経験する。(キッチ ン、ホール、ケータリング) ・一定の時間内に準備・片付 けができるようになる。 ・自分で目標を設定できる。 ・作業の効率や仕上げを考え て清掃できる。	・分担表を作成し、誰が何をす るのか分かるようににする。 ・タブレットPCで接客の様子を撮 影し、課題や反省点、良かった点 を意識できるようにする。 ・できるだけ生徒だけで行えるよ うに手順書を利用する。	
	カフェ営業学習 清掃作業(教室清掃・校外施設 清掃)		3	22	・接客の基本 ・ケータリングの基本 ・接客の模範演技にふれる ・場所に応じた清掃の練習		・すべての仕事をローテー ションで経験する。(キッチ ン、ホール、ケータリング) ・一定の時間内に準備・片付 けができるようになる。 ・グループで協力し、コミュ ニケーションを取りながら作 業できる。	・活動の流れを作り、主体的に活 動できるようになるまで繰り返 す。 ・タブレットPCで接客の様子を撮 影し、課題や反省点、良かった点 を意識できるようにする。 ・正しい手順を繰り返し行い、効 率の良い清掃を理解する。	
通 年	学年作業		通年		・体育館椅子設置 ・物品運搬作業		・協力して決まれた作業を 行う。 ・マナーやルールを理解して 作業する。	・手本を示したり、手順を一定に して分かりやすく作業を進める。 ・視覚教材を用意する。	